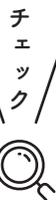


日本読書学会や『読書科学』にご興味ありませんか？



- ★年1回研究大会が開催されています。
- ★『読書科学』は年4号発刊されています。
- ★会員になると、研究大会で発表できます。機関誌『読書科学』が送られます。

まずは、日本読書学会のホームページをご覧ください。

<https://jra.smoosy.atlas.jp/ja>

日本読書学会のホームページ



「入会案内」は画面をスクロールした一番下にあります。

右上の3本線をタップしてください。「入会案内」はメニュー画面の中にあります。



何かご不明な点がございましたら、事務局までご連絡ください。

info@readingassoc.site

Read

日本読書学会

me

The Japan Reading Association

日本読書学会は「読み（Reading）」に関する研究を通して、研究者・教育の実践者などの活動と学術交流を支える組織です。

70th Anniversary

日本読書学会は
2026年に
70周年を
迎えます

日本読書学会は1956年9月1日に設立されました。学会設立60周年を記念して出版された『読書教育の未来』（ひつじ書房）は好評で重版もされました。それを礎に、「今までの10年」そして「これからの10年」を見据えた読書にまつわる様々な研究をするために、70周年記念書籍を出版します。



読書科学
ハンドブック(仮)
ひつじ書房



- ★最近の研究動向や方法論、研究倫理、読書科学投稿への道などを掲載する予定です。
- ★2026年度時点で会員の方には、無料頒布予定です。
- ★2027年3月出版予定です。



機関誌『読書科学』には、どんな研究が掲載されているの？



読書活動のみならず、**読む・書く・聞く・話す**といったディスコース全般、国語教育に関わるすべてのことが対象となり、間口は非常に広い学術雑誌です。また、基礎的な研究だけでなく、実践研究も大歓迎です。

⇒ 読み手の広がり

幼少期の子どもから高齢者、そして日本語を第二言語として学習している人も対象です。視覚障がい者をはじめ、さまざまな理由で読むことに困難を感じる人たちも含まれます。

⇒ 読み方の多様化

一人で読むだけではなく、みんなで読むことも増えました。また、文字を読むことだけではなく、音声を聞くこと、画像や映像を見ることも、広く「読むこと」と捉えています。

⇒ 読書法・学習法の開発

一人で感想や意見をまとめるだけではなく、みんなで読み深める協働学習も増えました。つまり、読む書くといった活動だけではなく、話す聞くといった活動も研究対象です。

⇒ 研究方法の多面化

実験や調査といった方法だけではなく、観察やインタビュー、実践報告なども読書科学の研究には重要です。最近、主流となりつつあるウェブ調査を用いた研究もされています。

読む・書く・話す・聞くは

人生を生きていく上で必要な活動です。

わたしたちは言葉を使い、自分や他者と

コミュニケーションしながら生きています。

皆さんの興味を言葉という観点から見直してみませんか？

機関誌『読書科学』へのアクセスは？

『読書科学』はオープンアクセスです。

チェック

- ★ 1956年1巻1号～2007年50巻3・4号
学会HPに掲載されています
- ★ 2008年51巻1号～
J-Stageに掲載されています。

『読書科学』
バックナンバー



日本読書学会はみんなを応援しています！

日本読書学会は、あなたの国際学会発表を応援します。近年の物価高を踏まえて、2024年度より最大50万円まで（26年度現在。人数制限あり）支援することになりました。



支援制度については
こちらから
ご確認ください

日本読書学会では
「読書科学研究奨励賞」と
「読書科学賞」を
授与しています。



これまでの
受賞者一覧

「読書科学研究奨励賞」は、『読書科学』に掲載された素晴らしい研究に対して、本学会での今後の活躍も期待される方を表彰します。毎年、行われる研究大会で表彰され、副賞5万円が授与されます。

「読書科学賞」は、読書科学という領域に対する
多大な貢献のあった個人または団体に対して贈呈しています。